

第11号

有機健康 つうしん

遠赤青汁通信 (H20.8.1 発行)

原料の完全自給を目指し、お客様に安心してお召し上がりいただける製品作りに努めます。

遠赤青汁株式会社

〒791-0398 愛媛県東温市則之内甲2225-1
TEL フリーダイヤル 0120-148-162
ホームページ <http://www.enseki.com>

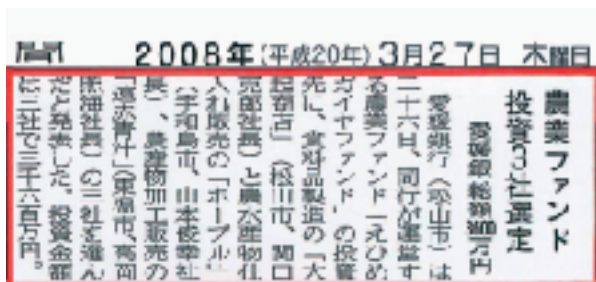
「えひめガイヤフアンド」 投資先に選ばれました。

この度、愛媛銀行が運営する農業ファンド「えひめガイヤフアンド」の投資先に遠赤青汁(株)が認定されました。

「えひめガイヤフアンド」は、地域の活性化を目指して二〇〇六年十一月に設立された民間初の農業ファンドです。

その目的は、農林漁業及び関連産業分野(食品加工等)の中から地域の特性を生かし、活性化に資すると考えられる事業体を選定し、新しいビジネスモデルとして地域の推進力に成長するよう育成・支援するものです。今回、弊社を含み三社が選ばれました。

※ガイヤとは愛媛県宇和島市の方言で「すごい」の意味。内「遠赤青汁」の投資額は二千万円



日本経済新聞・愛媛新聞で紹介されました(2008.03.26)

プライバシーマーク を更新しました。



▲認定番号も新しくなりました。

平成十七年にプライバシーマークを取得以来、お客様よりお預かりしております個人情報、社内で厳重に管理して参りました。

本年三月二十七日に、書類審査と現地審査を経て、更新申請に無事合格致しました。

プライバシーマークは一度取得したからと言ってそのまま継続できるものではなく、二年毎に更新作業が行われ、その都度申請し、基準を元に審査されます。

今回は基準となるJIS規格が改訂されたため、それに伴う変更点も多く、更新に苦労しました。

今回改訂されたJIS規格は、以前のものに比べ、個人情報関連が整備され、具体的な取り決めがなされているのが特徴です。

私共社員一同、個人情報保護方針に則り、お客様の情報を安全に適切に取り扱っていたたく事をお誓い申し上げます。

海外での取り組みが 地元新聞に載りました。



弊社では数年前より、海外の展示会へ積極的に参加し、愛媛県産の青汁をアピールしてまいりました。

このたび、「愛媛あいフード機構」の協力の元、先般行われた上海・審陽の展示会へも参加しその結果、台湾・中国への販売が始まったとして、地元愛媛新聞に紹介されました。

遠赤青汁Vシリーズをはじめ、青汁製品は東温市の特産品としても認定されています。愛媛県特産品が海外で販売されている事実を大きく取り上げていただきました。日本製品はその品質の高さ、安全性から需要が高まっています。愛媛県産100%、無添加の青汁を世界に広めていきたいです。

桜物語

チュニジアから 桜の便り届きました

アフリカにあるチュニジアとの国交樹立五十周年を記念して植樹された陽光(ようこう)がようやく花を咲かせました。〈植樹は有機健康つうしん第五号で紹介しました〉

陽光は寒さにも暑さにも強い桜です。遠くアフリカの地に、桜並木が誕生する日も近いですね。

日本さくら交流協会では本年十一月にもベトナムに交流三十五周年記念植樹を行う予定です。参加希望の方はご連絡ください。

日本さくら交流協会ホームページ
<http://sakura-yoko.org/index.html>



▲小さなつぼみをつけた陽光

農地再生に

挑む

皆様に圃場の様子をお伝えする「農地再生に挑む」も、はや十一回を数えるようになりました。ありがとうございます。その間に有機認定された圃場もどんどん広がっています。

愛媛県西条市丹原町は柿の産地で、近隣の圃場はほとんどが柿の木に囲まれています。近年、柿生産者の高齢化に伴い、栽培が継続できず放置されていく柿畑が増え続けています。

柿の栽培は、木に梯子をかけて高いところで作業をしたり、上を向いて袋をついたり、高齢になると体に辛い作業になるそうです。弊社ではこの放置農園をお借りして、有機圃場として転換しケールを栽培することで地域再生



現地での調査。検査員の方と、実際に圃場へ出かけて確認作業を行い、説明します。

有機圃場は広がり、点が面になっていきます。

に役立ちたいと考えています。

地域再生事業を始めた当初は、点々と存在した有機圃場もその数を増やし、点が面になってきました。圃場の管理で一番気をつけているのは近隣の圃場との境界線です。農薬の飛来を避け、緩衝地帯を設けなければなりません。

柿の栽培にも農薬を使うことがありますが、まずので栽培時期をずらし対応しています。

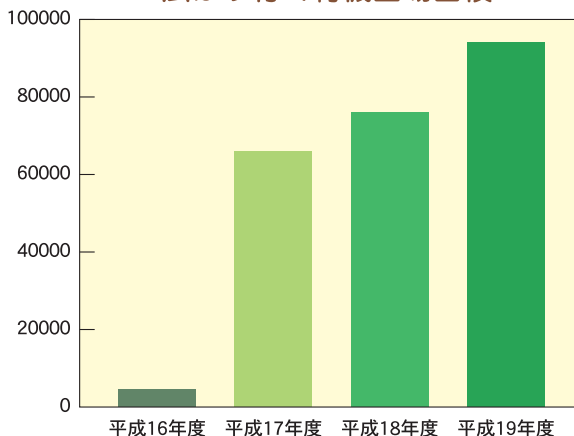
次第に増えていく有機圃場ですが、一度有機認定を受ければ、ずっと有機圃場として使えるかと言えそうですが、認定機関の検査員の検査が行われ、栽培管理記録の確認や、実際に圃場を見て回ります。無事、検査に合格すると、有機認定の継続が許可されることになります。



現地を確認後、書類を見て、さらに質問事項に答えます。ちょっと緊張・・・。

(単位: m²)

広がり行く有機圃場面積



本年も三月に検査が行われ、無事に認定の継続の許可を受けました。順次新しい圃場の認定も進んでいます。今後有機栽培にこだわり、原料ケールの完全自給、品質の維持を徹底し皆様に安心して召し上がっていただける製品作りに努めたいと願っております。愛媛県産有機青汁をよろしく願います。

(有機担当 近藤)

松浦さんの

ゆづぎの話

「こわいがあちゃん」

地元の鉄道会社に勤めて三十年、毎日毎日レールの上でお客様を乗せてひたすら走り続けてきました。退職し、のんびりする間もなく、遠赤青汁に入社し、そろそろ三年を迎えます。

仕事に嫌いではなかったのですが、新しい職場には大変な試練が待ち構えていました。とてもとても厳しいかあちゃんがいて、作業場や畑に、「ゴミや缶をちよつと置いていても叱られる。『馬鹿やろーっ』これは大変なところに来ただと当時は思いました。

仕事には厳しいが、人には優しい。周囲にも気を配り仕事が行えるように心がける。そうした指導をきちんと教えてもらったので、今では私が先輩に指導する立場になりました。馬鹿やろーかあちゃんのおかげ。今では遠赤青汁に入ってからよかったと思えるようになりました。

皆様にお届けする青汁の原料ケールを育てる作業は、実際やってみると大変です。ゴミひとつ落ちてないかと圃場を見回ったり、有機堆肥を入れて何度も鋤いて土づくりを行ったり、自分でやって初めてわかる苦労でした。それだけに、育てたケールが青青と圃場一面を覆うように大きく成長すると喜びを感じます。



松浦 (こわいがあちゃんは誰でしょう?)

これから毎日一日、精出してがんばらんと、どうぞ『遠赤青汁』の青汁を愛飲くださいますよう、お願い申し上げます。

松浦

EVENT

国内展示会

東京ビッグサイトで開催された

「健康博覧会」(二〇〇八年二月)

横浜パシフィコで開催された

「統合医療展」(二〇〇八年三月)

に出展しました。

昨年からの流れをうけ、食の安全性への関心を持つお客様が多いようです。特にギョウザ問題以降、国産の食品・有機JASの食品ということで、安心感を持って接していただいております。私どものケールは冬が本場です。旬のケールの鉢植えも展示しました。生命力の強い野菜の良さを感じていただけたのではないのでしょうか？
大学と共同研究したエビデンスにも感心が集まっています。



「健康博覧会」にて毎年参加させていただきますが、皆様の健康への関心の高さには驚かされます。



「統合医療展」にて来場者に熱く青汁を語る高岡。食の安全に対して関心が非常に高く、土づくりからやるという弊社のこだわりが注目が集まりました。

これからも展示会やイベントで愛媛県産有機ケールのすばらしさを皆様にお伝えしたいと思っています。

ドバイ展示会へ

農林水産省委託事業による海外展示・商談会「Gulfood 2008」へ出展しました。

農林水産省は、農林水産物等の輸出額を平成二十五年までに一兆円規模とすることを目標とし、輸出に関して高い意欲を持っている生産者等に対して、さまざまな支援を行っています。

こうした農林水産省委託の展示会は、二〇〇七年にはマレーシア(クアラ Lumpur)、インド(ムンバイ)で行われ、二〇〇八年はドイツ(エッセン)、アラブ首長国連邦(ドバイ)で開催されました。

全国から応募が殺到した今回の展示会は事前審査が行われました。

弊社は食の安全をアピール、創業以来守り続けている有機農業へのこだわり、無添加の青汁、さらには地域の特産品であることなどをPRし見事合格することができました。参加できる企業数は日本全国で、わずか十四社です。後になって健康食品を紹介するのは、非常に珍しいことだと担当者からお聞きし、より一層気持ち引きしまりました。ドバイへは高岡自ら向かい、熱の入った説明を行いました。

(二〇〇八年二月二十四日)

二十七日までドバイで開催



◀日本産オーガニック青汁にドバイの方も興味津々。

参加した企業さん達と▶

「Gulfood 2008」



四国八十八箇所・三十八番札所 金剛福寺 (こんごうふくじ)

高知県、足摺岬にある金剛福寺は四国八十八箇所のなかで最も南に位置しています。そのためか「補陀洛」(観音様の住む南海の浄土)に一番近いところとして、弘法大師が嵯峨天皇の勅願をたまわって開いたと伝えられています。

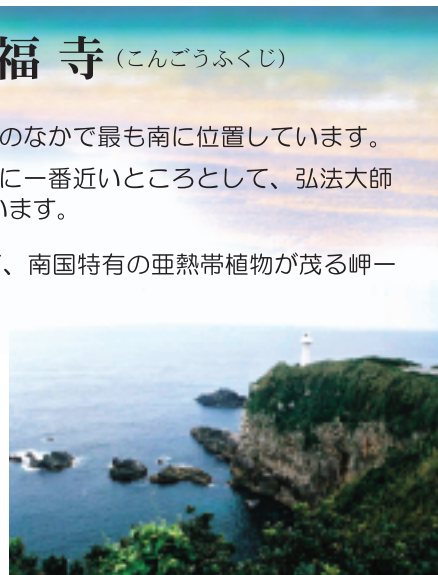
黒潮の流れる大太平洋沿岸だけあって、南国特有の亜熱帯植物が茂る岬一帯は日差しが強く、絶壁の上に灯台がまぶしくそびえます。

ここには幕末に活躍したジョン万次郎の銅像も建っており、太平洋を越えた数奇な運命をしのぶことができます。



◀境内には海亀の像が

足摺岬▶





V1で主人の健康を応援!



私はケールを飲み始めて2年と4ヶ月。途中からイチヨウ粒と一緒に飲むようになって2年を迎えます。

当時、どうしたわけか疲れが抜けないと感じることが多くなり、年齢的なものもあるかもしれないと青汁を続けるようになりました。それが気にならなくなったと思い始めたのは最近ですが、毎日の青汁は生活の中に欠かせない存在となりました。

以前はまったく飲んでくれなかった主人も、私の様子を見てかV1を飲むようになりました。あれほど言っても聞いてくれなかったのに、不思議ですね。今は会社に向かう前に必ずV1を30粒、自分で数えて飲んでいきます。

主人は長距離トラックに乗って、松山から鹿児島まで荷物を運んでいます。1回に800km~1000kmを走って帰ってくる主人を見ていると、体調が心配です。

V1を飲み始めてくれて、本当にほっとしているんです。健康でいてくれることが、嬉しいんです。これからも夫婦揃って、毎日続けていきたいと思っています。

ありがとう。



(山本様)

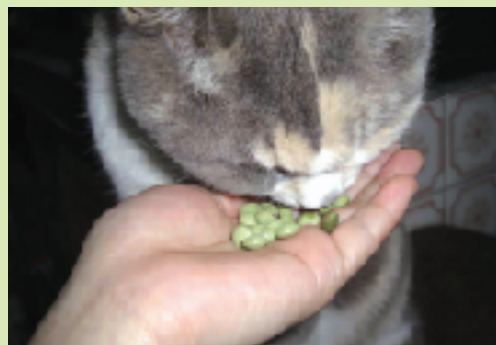
ご夫婦円満でうらやましいですね。遠赤青汁V1にはビタミンCをはじめ、ギャバや食物繊維など53成分の栄養が含まれています。ご夫婦の健康管理にこれからも、しっかり続けていただきたいですね。

お幸せに〜♪(^ー^)/

びっくり! 猫も健康志向?



我が家のアイドル「はなちゃん」です。動物は体調管理のために、草など緑のものを食べますが、我が家のアイドルは青汁を飲みます。私が青汁を飲もうと思ったら近寄ってきて「私も食べたいな〜」というおねだり。最初はまさかと思っていたのですが、これが意外にパクパク!



贅沢な猫だと思うけど、家族の一員として健康管理も気になるところです。青汁粒を食べて満足げな顔を見ていると、「元気なら、いいかな」なんて、横どりされても許してしまいます。そんな感じで我が家のアイドルは今日も元気です!

(はなちゃんさん)

猫ちゃんも大好きな遠赤青汁V1、ペットは言葉を話せないけど、おいしいものはまっしぐらですね。

お客様の中にも目の中にいれても痛くないペットの健康管理に青汁を利用されている方が多いんです。これらからもプチ贅沢な青汁ライフを楽しんで下さい。

我が家の人気メニュー

〈青汁バナナみるく〉

抹茶シェイクからヒントを得て思いついたんです。バナナの甘さで、スッキリおいしくて子供にも大好評です。(藤田様)



材料：バナナ 1本~2本
牛乳 200ml
有機遠赤ケール (2g) 2~3包

※青汁の濃さはお好みで。
稲若葉や緑茶青汁で作ってみてもおいしいですよ。

作り方：

- ①バナナの皮をむいて、ジューサーに折っている。
- ②牛乳を入れる。
- ③お好みで2包から3包のケール粉末を入れる。
- ④ジューサーを回せば出来上がり!

青汁でひと工夫!

お便り大募集!!

皆様からのお便りを募集しています。青汁商品に関するご意見、ご感想、ご要望など。また日々の出来事や感動した事などをお寄せください。

イラストや写真も大歓迎です!

採用させていただいた方には粗品を進呈させていただきます。

おたより広場に
メッセージをお寄せください!!

〒791-0311

愛媛県東温市則之内甲2225番地1

遠赤青汁株式会社

有機健康つうしんおたより広場
係あて

mail:aojiru@enseki.com

※お寄せいただいたお便り等は、その他の目的で
使用することはありません。